

地域資料個票一覧

2023/03/09 11:56:45

白金村文書

【 資料群：2002001 白金村文書 】

3 幕政・藩政 2 御用金

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
83	天保13・8	1842	覚	河原曾一右衛門 市橋所左衛門 篠田拾七郎	白金村安左衛門	紙	裏書・表書之通相違 無之者也とあり。奇特金金式両の請取り証文

4 村政

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
76	宝暦13・12	1763	覚	大右衛門	安左衛門	紙	
77	宝暦11・11	1761	覚	等々力村庄ヤ次左衛門	白金村庄屋安左衛門	紙	等々力村庄屋から白金村庄屋へ引渡した帳簿2冊証文1通の証文

4 村政 3 願書・書上帳等

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
51	宝暦13・5	1763	差上申一札之事	白金村安左衛門 外2名	米倉幸内 高橋八十人	紙	村高人馬等書上帳
86	宝暦11・11・6	1761	覚	等々力村庄ヤ次左衛門	白金村庄屋安左衛門	紙	庄屋引継ぎ書類一式の授受控

4 村政 4 村入用

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
117-1			覚(隠居免の書上げ)			紙	

5 租税

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
75	宝暦10・9	1760	覚	白金村庄屋安左衛門 組頭太右衛門	等々力文右衛門	紙	白金村御荷不足328俵の報告書
131			(断簡)			紙	高3石8斗4升4合3勺の処、諸項目加除後残り2石8斗3升3合8勺(年貢小帳の一部か)

5 租税

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
95	宝暦11・9	1761	奉願口上之覚	白金村庄ヤ安左衛門 組頭太右衛門	等々力文右衛門	紙	卯年分の蔵尻勘定が滞っており、安兵衛方にこの件につき聞きに再三出向いたが病と称して会って貰えずやむなく御上様に詮議を願い出た。蔵尻勘定＝年貢の納め・払出し・保管する御蔵の現在高を調べて報告すること。

5 租税 1-1 本年貢(年貢免状の交付)

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
114	慶安4・2・9	1651	(年貢免状)	乾三郎左衛門	外3人 不明(破損)	紙	

5 租税 1-2 本年貢(年貢の収納)

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
122			当村太右衛門手形 分粃五拾九斗六升五合七勺			紙	
124			塔原村花見之手形 よこ□□ 盗人御□ 両瀬道南地田畑川両者者た共		白金村安左衛門分太右衛門 外1人	紙	断簡か
111	5・16	—	(粃の拝借願い)	望月清兵衛	平林安左衛門	状	種借の手形
58			覚	庄屋 組頭	大庄屋	紙	年貢確認の覚書(下書き)
60	宝暦10・9	1760	白金村	組頭太右衛門 庄屋安左衛門	等々力文右衛門	紙	納粃の明細
62	午・5月	—	覚	保高組白金村組頭太右衛門 庄屋安左衛門	等々力文右衛門	紙	年貢割付 表紙に「午ノ麦畑願い納主亥年之扣ニ」
118			矢原分卯ノ勘定			紙	年貢矢原卯年の納分
24	享保20・12・23	1735	借用申粃之事	借主平右衛門 請人喜曾衛門 請人杉舟	白金村安左衛門	紙	粃16俵卯年納め年貢の借用証文。表書きあり

5 租税 1-3 本年貢(年貢の皆済)

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
65	明和元・12	1764	乍恐奉願口上之覚	保高組白金村弁治 外3人	等々力文右衛門	紙	
113	宝暦10・8	1760	御吟味ニ付口上之覚(御蔵不足の申立て)	白金村与頭太右衛門 外1人	等々力文右衛門	紙	

5 租税 1-3 本年貢（年貢の皆済）

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
84	宝暦11・8	1761	口上之覚	白金村安兵衛	当村組頭太右衛門 同庄屋安左衛門	紙	納入不足の靛については日延願を差出す様にとのことであるが・・・

6 土地 1 検地

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
121			名寄扣			紙	

8 入会

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
73	弘化5・3	1848	乍恐奉願上口上之覚	保高組白金村願い主 惣代判頭泉吉 外7人	等々力伝右衛門	状	表書あり「富士尾沢山論ニ付願書写」
87	宝暦12・4	1762	敷金ニ相渡申苜敷場之事	保高組白金村苜敷場 主忠弥 庄屋安左衛 門 外4人	松川組耳塚村善兵衛	紙	表書「柳林□□手形」 満水時の柳林の苜敷他の代金5両請渡し証文
91	嘉永3・6	1850	差出申済口一札之事	訴訟方保高組白金村 庄屋望月喜代蔵外7 名。相手方松川組嵩 下村・耳塚村・新屋 村・富田新田村各4 名。立入人重柳村・古 厩村各1名		紙	藤尾山の入会についての出入りで、白金村が松川組の嵩下村、耳塚村、新屋村、富田新田村を相手取り訴訟をおこした内容と、重柳村庄屋・古厩村庄屋の立入で熟談内済したその趣意。

9 金融

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
125	□・20	—	書状(利金壹両銀拾貳両)		平林安左衛門	紙	
63	寛政8・12	1796	借用申金子之事	白金村置主安左衛門 請人安兵衛 矢原村 同人磯五郎	矢原村弥五左衛門	紙	表紙「白金安左衛門」
132	8・11	—	覚(金子壹分づつ麦代・メ金壹両四人)	新屋村□左衛門	白金村安左衛門	状	麦代としてはいるが、無尽の覚書か
18	文政13・11	1830	無尽金請取証文之事	保高組白金村金子取 主玄俊 請人直三郎	長尾組七日市場善蔵	紙	無尽金25両の受取証文。持地1反2畝11歩と居屋敷を不残書入
80	文政10・11	1827	無尽金請取証文之事	保高組白金村預主玄 俊 俊次	長尾組七日市場村善 蔵	紙	金拾貳両貳分受取、掛返しは年一割づつ掛増。

9 金融

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
----	-----	----	-----	----	----	----	----

10 売買

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
64	明和4・12・25	1767	譲り渡申田地并苜敷場証文之事	保高組白金村譲り主大源 外6人	白金村市野右衛門	紙	
126	寛政8・12	1796	覚(壱分弍朱返済)・状(田地証文参候ハバ金子相渡可申候)	白金村民左衛門	等々力村理右衛門	紙	
54			譲り渡申証文之事	耳塚村条太郎 1外人	白金村安左衛門	紙	宝暦4年か。文中「来ル亥年より・・・」記載あり。
48	延享4・12	1747	譲渡申田地手形之事	白金村売主勘兵衛 証人外3名	当村安左衛門	紙	中畑5畝19歩 代金1両2分で売渡する。
105	元禄9・12・13	1696	永代売渡申田地畑家屋敷手形之事	地主与五右衛門 外1人 請人等7人	安左衛門 外1人	紙	代金11両等で残らず売渡し証文
99	宝暦11・12	1761	覚(粍29表者御手形86表之内也)	保高組白金村庄屋安左衛門	□□屋仙右衛門	紙	細萱村より代金4両請け取る
61	延享元・4	1744	譲渡シ申田地手形之事	白金村売主茂左衛門 請人安兵衛、太兵衛、治兵衛	安左衛門	紙	表「茂左衛門分中道畑分之下内手札」
117-4	延享元・10・15	1744	証文之事	嵩下村市右衛門	白金村安左衛門	紙	質地証文
117-5	元禄15・12・1	1702	永代売渡シ申田地之事	保高組白金村地主九兵衛 請人左五兵衛 庄屋安兵衛 与頭茂左衛門	同村安左衛門	紙	
117-6	享保21・3・10	1736	年季ニ相渡申田地之事	嵩下村本人左衛門 請人治兵衛 庄屋左衛門	穂高組白金村安左衛門	紙	
117-7	享保20・11・18	1735	年季ニ相渡シ申田地之事	嵩下村本人九之丞 口入次兵衛 受人庄右衛門 組頭左衛門 庄屋左口衛門	白金村安左衛門	紙	表「嵩下村 九之丞」
43	貞享3・12・15	1686	永代売渡シ申田地之事	白金村売主権四郎 文左衛門 与頭□郎 兵衛 しゃうこ人治郎 右衛門	安左衛門 安兵衛	紙	売渡地は屋敷内下田1畝歩(年貢1斗目)代金は1分1朱

10 売買

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
45	延享2・2・26	1745	譲渡シ申田地之事	白金村売主浅右衛門 請人次兵衛 与頭茂 左衛門 庄ヤ安兵衛	当村安左衛門	紙	
101	享保15・12・29	1730	売渡申田地手形之事	保高組白金村売主吉 左衛門 受人組頭茂 左衛門 同長百姓治 兵衛	当村安兵衛	紙	三年季借用4両2分 田畑9ヶ所反ノ7 反2畝8歩(分粃7石6斗5升6合5勺) 外を担保とする。端書に「当村吉左衛 門」とある。
103	正徳4・1・24	1714	売渡申田地之事	保高組白金村売主□ 右衛門 請人久兵衛 庄ヤ安兵衛 与頭茂 左衛門 惣百姓	新十郎	紙	田畑分粃合10石3斗7升3合9勺目外 売渡代金10両
104	明和8・3	1771	永譲渡ス田畑証文之事	松川与耳塚村譲主源 兵衛 長百姓庄右衛 門 組頭安兵衛 庄屋 半蔵	白金村市野右衛門	紙	庄じ池・氏神外4ヶ所の田畑(合わせ て7反4畝、分粃ノ3石2斗4合)譲渡 代金27両
21	延享元・12・12	1744	譲渡し申田地手形之事	白金村売上茂左衛門 請人平治郎 庄屋安 兵衛	当村安左衛門	紙	表書 当村茂左衛門手札 式畝拾七 分代金式両式分受取り証文
22	元禄12・12・10	1699	敷金手形之事	借主安兵衛 請人為 五郎 与頭七郎左衛 門	安左衛門	紙	5筆4反2畝3歩代金21両での借用証 文
74	寛政4・8	1792	一札之事①・奉願口上之覚②	①松川与耳塚村孫兵 衛 岡田与松岡村証 人武右衛門 ②保高組白金村願人 安左衛門 願人多舟 願人元隊	①白金村市や衛門 ②与頭清十 庄屋半 蔵 等々力孫左衛門	紙	①白金村村高に伴う証文通りの金子 支払い一札の下書きか②耳塚村善兵 衛持ち白金村田地の金銭処理の済口 証文
88	天保15・1	1844	譲り渡し申証文之事	譲り主勇次郎 庄屋望 月忠蔵 与頭尽悟	当村安左衛門	紙	屋敷4畝12歩の内上畑3畝9歩の譲 渡証文
128	天明8・12	1788	一札之事①・書付②	①白金村和右衛門 ②与頭尽治 庄屋忠 蔵	①矢原村□右衛門 (萬右衛門か) ②当 村安左衛門 当村甚 左衛門	紙	表書「桜島田証文」 ①村内新切譲り 渡し(1両1分)に伴い、5本柳切取に つき、この件当一札により了解願いた い旨の証文。 ②矢原村定矢衛より当 村2方に訴戻し再相談の上両人代金 壹分式朱で譲り渡し花元・片腕了承の 済口書付。

10 売買

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
14	元禄10・ 2・23	1697	永代ニ売渡シ田地之事	白金村売主権四郎 庄屋安兵衛 与頭七 郎右衛門 口入孫七 郎	同村安左衛門	紙	石原の中田5畝3歩を金子3分にて永代売渡
28	宝暦元・ 12・24	1751	永相渡申畑之事	柏原村本人藤八 与 頭七左衛門 同孫右 衛門 庄屋茂兵衛 同 新右衛門	白金村安左衛門	紙	下畑・下々畑・反ノ四反四畝廿八歩、 分粃ノ壹石八斗七升壹合三勺を渡し 金子拾貳両を請求る。
30	寛永3・ 12・26	1626	永代ニ売渡申田地之事	白金村売主与五郎 請人庄屋安兵衛 同 与頭茂左衛門	当村安左衛門	紙	武神の下畑壹反三畝九歩、分粃六斗 六升五合を金四両壹歩にて売渡す
32	元文5・11	1740	覚(政右衛門へ渡した田畑の割符の控)	世左衛門	政右衛門	紙	政右衛門へ□五ヶ所ノ29俵分、この 外に母隠居免をして二ヶ所11俵1斗5 升を譲渡。表に「政右衛門方割符田 畑之控」と記されている。
90	天保9・12	1838	譲渡申証文之事	白金村入作松川組耳 塚村譲主浄太郎 証 人林善兵衛	保高組白金村安左衛 門	紙	

11 貸借

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
120	11・18	—	書状(無尽金願い)	尾川伊左衛門	平林安左衛門	紙	
123	5・22	—	覚(借金返済証文)	中治	白金村安左衛門	紙	
116	明和7・12	1770	借用申金子之事	借主太郎右衛門	白金村市野右衛門	紙	上田3畝書入れ。
130	享保18・	1733	(拝借粃の勘定書一部分)			紙	仕切書
49	延享2・12	1745	一札之事	保高村半二郎 外受 人3人	白金村安左衛門	紙	計10両の元利全て返済した旨の証文
50	元文2・3	1737	借用申粃之事	保高村借主小源次 外受人2人		紙	粃3石の借用証文
52	元文2・4	1737	借用申粃之事	保高村借主午右衛門 外請人2名	白金村安左衛門	紙	粃6石2斗4升9合の借用手形
53			奉願口上之覚			紙	五葉一科70枚代金・・・は、極月20日 に上納するので、それまで拝借した い。

11 貸借

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
106	宝暦元・11・18	1751	借用申金子之事	保高村地主彦三郎 外受人1名	白金村安左衛門	紙	金子3両の借金
107	文政13・12	1830	借用申金子之事	平塚村借主祐治 外 請人1名	白金村栄碩	紙	金3両
108	享保8・12・31	1723	敷金田地手形之事	白金村本人治兵衛 外2名 庄屋安兵衛	当村安左衛門	紙	敷金3分2朱にて下田4畝歩
110	元禄10・12・23	1697	敷金仕田地之事	白金村又左衛門 外 請人3名	同村安左衛門	紙	金1両2分の借用、5年季。
33	天明3・12・29	1783	借用申金子之事	白金村安左衛門	矢原村弥五左衛門	紙	御上納ニ相立申候
34	宝暦12・4	1762	借用申金子之事	保高組白金村庄屋安 左衛門 組頭太右衛 門	等々力文右衛門	紙	
35	安永3・12	1774	敷地ニ仕借用金子之事	地主市野右衛門 請 人太助 庄屋半蔵 与 頭安兵衛	等々力村利兵衛	紙	
37	寛政3・12	1791	借用申金子之事	白金村安左衛門 多 助	矢原村武左衛門	紙	元利相済申候ハバ証文御戻し下さる よう
40	安永3・12	1774	借用金子之事	借主安兵衛 請人喜 左衛門	保高口惣七	紙	未ノ十二月十五日利息ノ儀ハ二割ニ 相立申候
98	享保元	1716	手形之事	受人光明院 畑主清 右衛門	甚六	紙	表紙 保高甚六口(質か)手形
117-3	元文4・3・16	1739	借用申靱之事	嵩下村願人八兵衛 受人次兵衛 受人又 右衛門	白金村安左衛門	紙	
44	天明4・12	1784	借用申金子之事	白金村かり主安左衛 門	等々力村喜多右衛門	紙	一年季借用2両2分書入として砂原 下々田2畝歩(分靱4斗目)
46			借用申金子之事	甚兵衛 太右衛門 安 左衛門 三人衆源左 衛門、藤左衛門、国右 衛門	文右衛門	紙	安兵衛による当3月切借用20両、担 保として安兵衛外3人の家・田畑等。 請人に三人衆。端書に「安兵衛分借 用、□文之扣」とある。
102	12・大晦 日	—	一札之事	白金村太右衛門	庄屋安左衛門	紙	正覚院より借用靱16俵内村借り8俵拙 者借り8俵
68	宝暦4・6	1754	借用申靱之事	保高組白金村借主弁 治 同断安左衛門 組 頭茂左衛門 庄ヤ安 兵衛	御領所田沢村庄右衛 門	状	奥書、借用手形・当村安兵衛

11 貸借

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
20	延享元・4・14	1744	請取之覚	保高村半一郎(半二郎)	白金村安左衛門	紙	金子7両受取証文
23	延享3・7	1746	借用申金子之事	借主村預り主杉舟 同村請人牧馬 同村請人清五郎	白金村安左衛門	紙	金17両1分の村内借入請取証文
25	延享4・2・19	1747	借用手形之事	保高村借り主半二郎 受人朝二郎 同断市左衛門	白金村安左衛門	紙	金子三分二朱の借用証文。表書きあり
26	寛延3・7	1750	借用申金子之事	借り主牧馬 請人杉舟	白金村安左衛門	紙	金子2両2分借用証文
8	宝暦11・12	1761	借用申金子之事	保高組白金村庄屋安左衛門 外2名	等々力文右衛門 外2名	紙	金20両の借用証
12	寛延2・12	1749	借用申金子之事	借り主穂高村新五郎 外3名	白金村安左衛門	紙	金銭借用証
13	元文4・4・13	1739	敷金仕田地手形之事	本人浅右衛門 平次郎 庄屋安兵衛 与頭茂右衛門 治兵衛	当村 安右衛門	紙	裏書:村浅右衛門 下々田3町歩を質地に代靱4俵を5年季に借用
15	明和5・12	1768	借用申金子之事	白金村借主市野右衛門	等々力村定右衛門 同村利兵衛	紙	裏書あり。金三両を1年間の約束で借りた。抵当は万水東の柳林苜敷地、利息は年2割。
17	寛延2・7・12	1749	借用申金子之事	白金村借主太右衛門 同安左衛門	等々力村治左衛門	紙	金3両を同年9月中に返済の短期借入
27	天明4・12	1784	借用申金子之事	安左衛門	矢原村武左衛門	紙	金貳両貳分借受、未年十一月中に利息共返却するとの借用文書。この質物としての田地証文を預けている。外に金貳分借用とか天明7・8年の利息についての走り書きも追加されている。
31	安永2・12	1773	借用申金子之事	白金村かり主市野右衛門 請人多助	等々力村利兵衛	紙	金四両壹分を借用。未年十一月中に壹割五分の利息をつけて返済する。藤塚の下々田三ヶ所の書入証文を担保にしている。

12 質物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
66	文久3・2	1863	質流相渡申畑之事	柏原村入作等々力村 覚兵衛	白金村安左衛門	紙	包紙と本体

12 質物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
55	宝暦8・5・3	1758	質地仕田地手形之事	地主杓右衛門 外3人	当村安左衛門	紙	下田2筆・7畝歩
38	宝暦11・12・20	1761	質地ニ入置証文之事	本人安兵衛 庄屋安左衛門 外2名	等々力文右衛門	紙	安兵衛上納金
42	元禄12・12・10	1699	敷金田地手形之事	地壳主与五郎 庄ヤ安兵衛 与頭七郎右衛門	安左衛門	紙	一年季借用30両1分 質地:田畑合3反6畝21歩(分粃合而4石24升1合2勺)外
47	明和7・2	1770	敷地ニ仕柳林之事	かり主市左衛門 長百姓うけ人庄右衛門 庄屋半蔵	所事理兵衛	紙	端書に「等々力村利定柳林敷地証文之控」とある。三年季借用金5両 質地:柳林1ヶ所土おこし流跡1ヶ所
100	元禄15・12・25	1702	壹代ニ相渡し申田畑之事	白金村渡主勘兵衛 庄屋安兵衛 与頭茂左衛門 証古人太兵衛	同村安左衛門	紙	一年季借用27両1分 書入:田畑3ヶ所反々4反5畝12歩(分粃5石3斗5升5合)外。端書に「当村勘兵衛」とある。
1	宝暦10・5・15	1760	一札之事	白金村田地引請惣七 外受人安兵衛	庄屋作左衛門	状	惣七が又左衛門の田地を二年契約で引請け、代金三両を定右衛門へ支払う
2	明和8・8	1771	譲渡申田地之事	証人喜右衛門 同断市野衛門 外3人村役人	等々力村利兵衛	状	下々畑三畝分粃六分の土地を三両一分で譲渡する
3	享保3・11	1718	敷金田地手形之事	保高与矢原村田地主 門右衛門 外3人村役人	同組白金村安左衛門	状	下々田二反七畝二十五歩と新切、分粃一石九斗四升八合三勺を十四両にて借用・・・
4	明和4・8・26	1767	譲渡申田地之事	保高組白金譲り主仲野右衛門 外証人3人 村役人3人	松川組耳塚村善兵衛	状	・・・御田地代金拾三両・・・田地の所有権が保高組から松川村住人へ渡る
5	享保5・2・3	1720	敷地手形之事	同封佐右衛門 外村役人2人	白金村安衛門	包紙	上畑十四具歩 分粃三升六合を一両一分で渡す。期間2年
67	天保14・4	1843	質流譲渡申石切之事	松川組耳塚村入作譲主勇次郎 白金村口入国太郎	白金村喜右衛門	状	与頭太兵衛 庄や忠兵衛の奥書あり(印無し・下書きか)。
69	天保14・12	1843	質流譲り渡申畑之事	松川組耳塚村白金村入作譲主常太郎 請人陣右衛門	白金村安左衛門	状	上畑三畝九歩代金五両 印無し(下書きか)
70	宝暦11・12	1761	質地ニ入置申証文之事	保高組白金村本人安兵衛 外村役人3人	等々力文右衛門	状	奥書 右之通我々共立合吟味仕候所・・・保高町村庄ヤ源左衛門 外2人

12 質物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
89	天保14・12	1843	質流譲り渡し申畑之事	松川組耳塚村白金入作讓主常太郎 耳塚村受人林善兵衛	白金村安左衛門	紙	居屋敷4畝12歩ノ内上畑3畝9歩の質流5両譲渡し証文
6	宝暦11・8	1761	敷地仕田地之事	白金村本人惣七 外2名		紙	上田1反28畝借用
9	元禄5・12・29	1692	志き金ニ置申田地手形之事	請人庄や安兵衛 外3名	安左衛門	紙	田地の敷金提供証文
10	延享元・4	1744	保証文之事	保高村借主半二郎 外2名	白金村安左衛門	紙	屋敷畑(上畑8畝24歩借用に伴う負担につき約束
11	延享元・4・13	1744	質物仕屋敷畑之事	保高村置主半次郎 外5名	白金村安左衛門	紙	屋敷畑質物提供の証文
78	寛政9・12	1797	敷地仕草場之事	白金村敷地主安左衛門 外2名	矢原村甚右衛門	紙	草場敷地、中3年季にて借用
16	享保5・12・26	1720	敷金手形之事	保高組白金村売主佐右衛門 請人安兵衛 同茂左衛門	当村安左衛門	紙	裏書は当村左右衛門。
29	寛保3・12・1	1743	質物入置田地之事	当村借主治兵衛 請人安兵衛 同茂左衛門	同村安左衛門	紙	下田九畝分分粃九斗九升を質物とし金子貳両を借用。子年暮れに返すので年貢諸役お勤めください。

18 運輸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
81	宝暦13・5・3	1763	御尋ニ付奉申上口上之覚	松平丹羽守領分信州安曇郡上野組村々以下長尾・成相・保高各組の庄屋・組頭・百姓代連名連印	米倉幸内 高橋八十八	紙	寛保元年(1741年)、甲州路に於ける中馬妨げに対する出訴・釈明の上申書(案文)
82	宝暦13・5・3	1763	差上申一札之事	松平丹後守領信州安曇郡上野組村々以下長尾・成相・保高各組名主・組頭・百姓代・連名・連印	米倉幸内 高橋八十八	紙	信州安曇郡の中馬の現況について吟味を受けた際、これに対する返書(案文)

19 通信

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
119	12・17	—	状(衣束御買被成可被下候母願上申候)	渡辺口右衛門	東ノ御所平林安左衛門	紙	

19 通信

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
109	6・11	—	(御礼の書簡)	青木花見勝野幸右衛門	安左衛門	紙	金銭の無心に係る御礼の書簡
59			書簡(土地のもめ事)			紙	土地についてもめ事の書簡の一部
19	9・9	—	(書簡の素案文)	林太郎	平林源太夫	紙	土地取引に関して、御口合わせ(口入のことか)を依頼する文面かと思われるが、解読困難な文面のため詳細不明

20 戸口

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
127	寛政11・2	1799	宗門送一札之事	林村与頭左源治 庄屋朝蔵	柳原村庄屋金左衛門 与頭平右衛門	紙	
56	宝暦12・1	1762	送り宗門之事	大池村名主平左衛門 外1人	白金村庄屋安左衛門 外1人	紙	

23 農村

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
79			乍恐奉願口上之覚			紙	末尾欠落の為主旨不明なるも現存文より判断するに白金村へ入作している等々力村次左衛門との紛争らしい。

24 小作

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
117-2	元文元・12	1736	証文之事(質地小作)	耳塚村武兵衛	白金村安左衛門	紙	下々田5畝4歩
92	宝暦11・2・3	1761	預り一札之事①・奉願口上之覚②	①白金村太右衛門 ②保高組白金村与頭願主太右衛門 庄屋安左衛門	①当村安左衛門 ②等々力文右衛門	紙	①下田2ヶ所七畝分を預かりましたので、当暮には下作料一石九斗を納めるとの念書 ②太右衛門の甥左衛門が出奔し何を仕出すかも分からないので久離したい旨の願書

34 商業

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
----	-----	----	-----	----	----	----	----

34 商業

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
129	10・20	—	覚	飯口や商藤	□□嘉蔵	紙	ぶり式貫目ノ壹両分式百六十文の勘定を貰ったという証書か。二ヶ所へ売捌いた様だが代金合わないか。

36 水利

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
36			一札之事(等々力利兵衛殿江遣シ候書付)		等々力利兵衛	紙	田畑反ノ4反8畝28分・代金13両 御上納ニ相立申候

36 水利 1 願書

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
57	宝暦13・3	1763	奉願口上之覚(田地へ引水について詮議の依頼)	長百姓甚兵衛 外2人	等々力文右衛門	紙	

36 水利 5 堰普請出入

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
72	宝暦10・1・21	1760	信濃国安曇郡重柳村同国筑摩郡光村川瀬築面論裁許之事	安曇郡丹波守領分願人重柳村庄ヤ 外2人 筑領相手方光村名主 外2人	代官10人	状	訴状の下書。重柳村と光村による川除に関する争い。

37 土建

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
93	宝暦12・2	1762	奉願口上之覚	保高組白金村組頭太右衛門 庄屋安左衛門	等々力文右衛門	紙	往還筋の橋木修理用として小倉御林から丸木捨八本の貰い請願書。奥書で文右衛門から藤田治右衛門あて右の通り相違いないとの記述あり。
94	宝暦12・4	1762	奉願口上之覚	保高組矢原村弥五左衛門 儀右衛門 安左衛門 太右衛門	等々力文右衛門	紙	中曽根川川除の為諸木ノ四百八本を烏川御山から伐る許可を下さいとの願書。

40 宗教

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
7	宝暦13・1	1763	送り証文之事	池田組瀧沢村本人七五郎 外4名	保高組白金村庄屋安左衛門	紙	宗門送り(村送り)

40 宗教

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
85	元禄9・3	1696	信州水内郡平林郷七重山平林寺宝樹院開発並代々住僧移替之次第	信州水内郡平林村宝樹院光誉		卷子	寺開発並代々住寺移替次第を江戸表より御改めに付書き上げたもの。

41 凶災

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
71	弘化4	1847	弘化四丁未三月廿四日夜大地震之由来 具ニ書記シ後代ニ残シ置			状	善光寺大地震(弘化4・3・24)余震の回数、地元のケガ人無し 善光寺火災、松代藩の救済等記す

43 身分

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
115	明和7・12	1770	請状の事(奉公人請状)	置主又右衛門 外2人	白金村市野右衛門	紙	御領所明科村から白金村へ奉公
41	宝暦13・12	1763	請状之事	奉公人善八 請人与重郎	白金村市野右衛門	紙	

44 家

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
96	天保14・12	1843	差出申一札之事(私居屋敷譲リ渡シ申度候)	松川組耳塚村彦太郎	白金村安左衛門	紙	

115 宗教

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
133	明治4・1	1871	乍恐奉願口上之覚	保高組白金村願人平林安左衛門	名主望月忠蔵 外1名	紙	名主→松本藩御役所神葬祭改願い

9999 分類未確定

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
112			(粃・割付の計算)			紙	田畑反別書上帳の一部分か
39			一札之事	本人吉左衛門 口二人忠左衛門 同安兵衛	当村安左衛門	紙	就か金40両者母之隠居先田地代金也
97			差上申一札之事	信州安曇郡白金村		紙	馬数6疋口而中馬稼 信州高嶋・上田・松本・木曾・甲州・尾州

9999 分類未確定

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
----	-----	----	-----	----	----	----	----